

10 沼袋地区

71 沼袋町会

歴代会長

初代	高橋 永雄	(1955~1966)	五代	高橋 実雄	(1977~1987)
二代	石塚 甚三	(1966~1967)	六代	西村 伊八	(1987~1988)
三代	小俣 僚	(1967~1969)	七代	高橋 秀三	(1988~2015)
四代	松永 圭一	(1969~1977)	八代	木村 康幸	(2015~2019)
			九代	小野 武	(2019~現在)

組織

会 長	小野 武	婦 人 部 長	桜井 多加子	監 査	高橋 将雄
副 会 長	川上 宏	副 部 長	高木 薫		矢島 信幸
	納谷 光和	会 計	高木 薫		
	伊藤 善利		境野 美枝子		

総務、環境、防火防災、防犯、交通、文化、広報の各部に正副部長を配置し活動している。

町内 15 ブロックに分け、役員 5 名が 3 ブロックずつ受け持ち、各ブロックの常任理事 1 名と班長(3~7 班)で連携して回覧板や集金業務、配布物等の諸連絡をお願いしている。

令和 5 年からサポーター制度を設けて行事への応援参加や、将来役員への推薦を目的として日々声掛けをしている。(25 名)

町会の沿革

昭和 21 年頃沼袋には 5000 人を越える人口があり、住民全体で沼袋町会を形成していた。しかし進駐軍の命により、バス通りを挟み東西に分かれることになり、東の部分が現在の沼袋町会となった。

昭和30年当時、沼袋の名刹禅定院住職高橋永雄初代会長を中心に、氷川神社宮司小俣僚氏を初め先人各位が沼袋に住民の為の自治活動を推進するために発足した。

現在は、禅定院・氷川神社・百観音明治寺・公園と緑豊かな住宅地域と駅を中心とした商業地域となっている。また、約3500所帯の内2200所帯が単身者というアパート・マンション等共同住宅が多いのも特徴で、現在の会員数は 10 年前の 25 パーセント減で1000所帯を切ってしまった。また、現在西部新宿線の地下化工事とバス通り商店街の拡幅工事が行われており、特に商店街は会員なので会員減少の影響を危惧している。地下の駅が完成した際の出入口や地上に駅ビルが建つのか等、町の活性化や賑いのあるまちづくりを期待している。

主な活動及び課題

- ・防犯パトロール(週 2 回)
- ・春秋交通安全運動啓蒙活動
- ・新入学児祝品贈呈
- ・夏期ラジオ体操(10 日間)
- ・沼東子供と共に進む会と夏・秋・冬
- ・防災訓練(毎年)
- ・敬老祝品贈呈(75 歳以上)
- ・行事共催し子供の育成
- ・資源ごみ回収事業
- ・日赤・歳末助け合い募金活動に協力 (令和 6 年から町会組織に入る)

2016 年から東京都及び中野区の助成にて防犯カメラを町会員の理解で15台設置することができた。2025 年 5 台増設合計 20 台となり少しでも安全安心の町になっている。また、西武新宿線の地下化による高齢者の生活環境の変化(現在大手スーパー、銀行なし)が5年後、10年後に住みやすい町になるかが町会員増減のキーポイントでもある。